

岸和田
在宅総合
センター

「ベッドの正しい使い方」 勉強会を開催しました

私たちの事業所は、看護師・理学療法士・介護福祉士・ケアマネージャー・福祉用具専門相談員といった多職種の職員で構成されており、このような勉強会では実に多様な意見や質問が飛び交います。職種ごとに視点が異なるためとても新鮮な学びの機会となり、利用者様へのサービスの質を高めるために役立っています。

医療介護ベッドメーカーの株式会社プラッツ様より講師をお迎えして、実際のベッドを使いながら実演を交えた体験型セミナー

ポジショニングベッド 「ラフィオ」

背中への負荷を軽くするには…

背上げの際に生じる背中とマットレス間のずれと誤嚥リスクを低減する機能を備えています。スタッフが実際に体験して、腹部・大腿部にかかる圧が軽くなる背上げの方法を体験しました。

ほとんどの介護ベッドは、ボタンを押せば利用者様の体を起こしてくれます。しかし、リモコン操作の方法によってご本人の背中にかかる負荷は大きく変わります。とりわけ背中に生じるズレの圧力は、床ずれや苦痛の原因になり快適さが著しく損なわれます。

● スレを防ぐためには、次の手順が必要です ●

1. 利用者様の膝をベッド上の正しい位置に合わせる
2. 最初に膝上げ機能を使い、次に背上げを行う
3. 背が上げれば膝を下げて腹部の圧迫を避ける

少しの操作の違いが大きな快適性の違いを生みだします

頭部を起こす機能

誤嚥性肺炎のリスクを軽減

肺炎は近年増加傾向にあり、高齢者の死亡原因の一つであります。その肺炎のほとんどが誤嚥性肺炎で、誤嚥予防は超高齢社会の大きな課題の一つです。

年齢別死亡原因において肺炎は…

- ◆ 65～80歳 第4位
- ◆ 80歳以上 第3位

メーカーは、利用者様の使用状況を把握して新商品を開発されています。そんな最新の福祉用具を正しく使用することでその効果を最大限に実感できるよう、私たちも日々勉強しながら利用者様をサポートさせていただきます。

